

ドライバー拘束時間縮減に向けた取り組みについて

物流 24 年問題を来年に控え、合成スラブ工業会およびフラットデッキ工業会では、製品の安定供給のためには納入車両の確保が大きな課題になります。課題解決には『ドライバー拘束時間の縮減』が必須であり、その方策について下記の通り納品先(着荷主企業)の皆様への理解活動を行って参ります。

記

デッキプレートは、各メーカーの製造工場から使用される建設現場へ直接搬入し、その際にトラック上から直接製品をクレーンで荷降ろしをする「車上渡し条件」(トラック持込乗渡)が一般的で、加えてそのまま荷を躯体上に降ろすケースも少なくありません。そのため、指定時間に現場へ到着しても、躯体工程の状況によって荷降ろしができないなどの現場都合により、現場付近にて待機を余儀なくされることが頻発もしくは常態化しております。

このドライバー拘束時間の長期化および帰着時間の不安定化による輸送効率の劣化は、当業界の長年の構造的課題です。来春の働き方改革関連法施行によって拘束時間の規制がより厳しくなることから、輸送費の高騰や輸送車両の確保自体が困難になることが懸念されます。

同法施行による運転・拘束時間の制限や時間外労働の規制強化などにより、輸送能力は 2024 年度で 14%、2030 年度には 34%ほど不足することが見込まれており、「発荷主企業、物流事業者、着荷主企業が連携・協働して、改善を図る必要がある」「取り組みが不十分な事業者に対して、勧告、命令等を行う規制的措置等の導入等に向けて取り組む」ことが、本年 6 月 2 日の政府閣議にて決定されました。

以上を踏まえ 2024 年以降も製品の安定供給に支障をきたさぬよう、納品先(着荷主企業)の皆様に対し、法令順守に向けたより一層のご協力をお願いする次第です。具体的には、

(1) 効率的運用に向けた従来からの商慣習の見直し

- ①指定時間での荷降ろし(荷卸待機の解消、または、仮置き場の確保)
- ②ロットまとめによる一括輸送(積載効率の向上)

(2) 受渡条件などルールの再徹底

- ①午前納入の指定(午後納入不可)
- ②工事進捗・天候等による納入キャンセルの早期判断・連絡

等々の方策が考えられます。

今後ともデッキプレート製品の安定供給を果たすため、会員各社において様々な方策を検討し、提案並びに理解活動を推進して参りますので、何卒ご理解・ご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

< 参考：6 月 2 日発表 政策パッケージ抜粋 >

■ 荷主・物流事業者間における物流負荷の軽減【農水省、経産省、国交省等】

待機時間、荷役時間の削減等を通じてトラックドライバーの労働時間を削減するとともに、納品回数の減少等を通じた総輸送需要の抑制や物量の平準化により効率的な物流を実現するため、発荷主企業、物流事業者、着荷主企業が連携・協働して、改善を図る必要がある。

このため、事業規模や貨物特性といった事情を勘案しつつ、それぞれの事業者に対して、物流負荷の軽減に向けた計画作成や実施状況の報告を求めるとともに、取り組みが不十分な事業者に対して、勧告、命令等を行う規制的措置等の導入等に向けて取り組む。

以上